

## 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	血管迷走神経反応 (VVR) になりやすさを示すスコアの実用可能性と有用性に関する研究 (血管迷走神経反応 (VVR) 発生リスクスコアの献血現場での活用に関する実現可能性と有用性の検討)
研究期間 (西暦)	2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日
研究機関名	東京都赤十字血液センター
研究責任者職氏名	医務課 非常勤医師 橋爪龍磨

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

## 研究の説明

## 1, 研究の概要

献血の前後や献血中にご気分が悪くなる原因の大多数は血管迷走神経反応 (VVR) です。東京都赤十字血液センター管内での 2024 年度 VVR 発症者数は 4073 名、発症率は 0.69%と計算されます。当センターでは、昨年までの研究の結果 VVR になりやすさを示す VVR スコアを作成しました。当研究では、この VVR スコアを献血会場で実際に使用できるかどうかを評価します。VVR スコアは今までの献血の経験の有無、献血時に気分が悪くなった経験の有無、年齢、循環血液量、身長から計算し、0 点から 5 点まであります。VVR スコアが高いほど、予測される VVR の発生率が高くなります。

VVR スコアを計算するための情報として、今回が初回の献血であるかどうか、過去に VVR になったことがあるか、身長、体重を使用します。実際のスコア算出には循環血液量を使用しますが、循環血液量は身長と体重から計算できます。

献血会場に来場され、受付をする際に VVR スコアを計算して、当日のみ使用する紙に記入します。紙に記入された VVR スコアは当日献血を担当する職員全員が確認します。

実際に献血会場で VVR スコアを計算して運用することが可能かどうか、また、VVR スコアを職員が把握していることにより VVR が予防できるかを検討します。偶数日には VVR スコアの算出を行い、奇数日には行わないようにして、偶数日と奇数日の VVR の発生率を比較します。

## 2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：なし

献血血液等の情報：採血年月日、年齢、性別、身長、体重、過去の献血歴、献血による副作用歴、献血した場所、今回の献血で生じた副作用について、今回の献血から 1 年以内に再び献血にご来場頂けたかどうか。

## 3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液等を使用する共同研究機関》

該当なし

《献血血液等を使用しない共同研究機関》

該当なし

4 献血血液等を利用又は提供を開始する予定日

2026年10月1日

5 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

初めに①献血初回者か既献血者、②過去の献血でVVR経験の有無、③年齢、④循環血液量（身長と体重から算出します）、⑤身長の5項目を用いてVVRスコアを簡単に算出するためのアプリケーションを開発します。タブレット端末を利用して2026年10月1日から2026年12月31日に東京都内で400mL献血を行う方につき、研究期間中偶数日にご来場いただいた方に受付でVVRスコアを算出し、献血会場で職員が連絡用に使用する用紙に点数を記載します。VVRスコアが3点以上の場合、所定のネックストラップを装着して頂きます。研究機関終了後、偶数日、奇数日でのVVR発生率の違いや再来率を確認しネックストラップによる注意喚起の有効性を検討します。

6 献血血液等の使用への拒否について

ご自身のデータの利用を拒否することができます。拒否する場合には2027年1月15日までに下記メールアドレスまで申し出て下さい。

また、本研究内容に関するご質問がありましたら、2027年1月15日までに下記メールアドレスまでご連絡ください。

7 上記6を受け付ける方法

下記の問い合わせ先に、ご質問またはデータの利用について拒否する旨を申し出てください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京都赤十字血液センター
担当者	難波 寛子
電話	03-5272-3532
Mail	<a href="mailto:n-namba@ktxs.bbc.jrc.or.jp">n-namba@ktxs.bbc.jrc.or.jp</a>